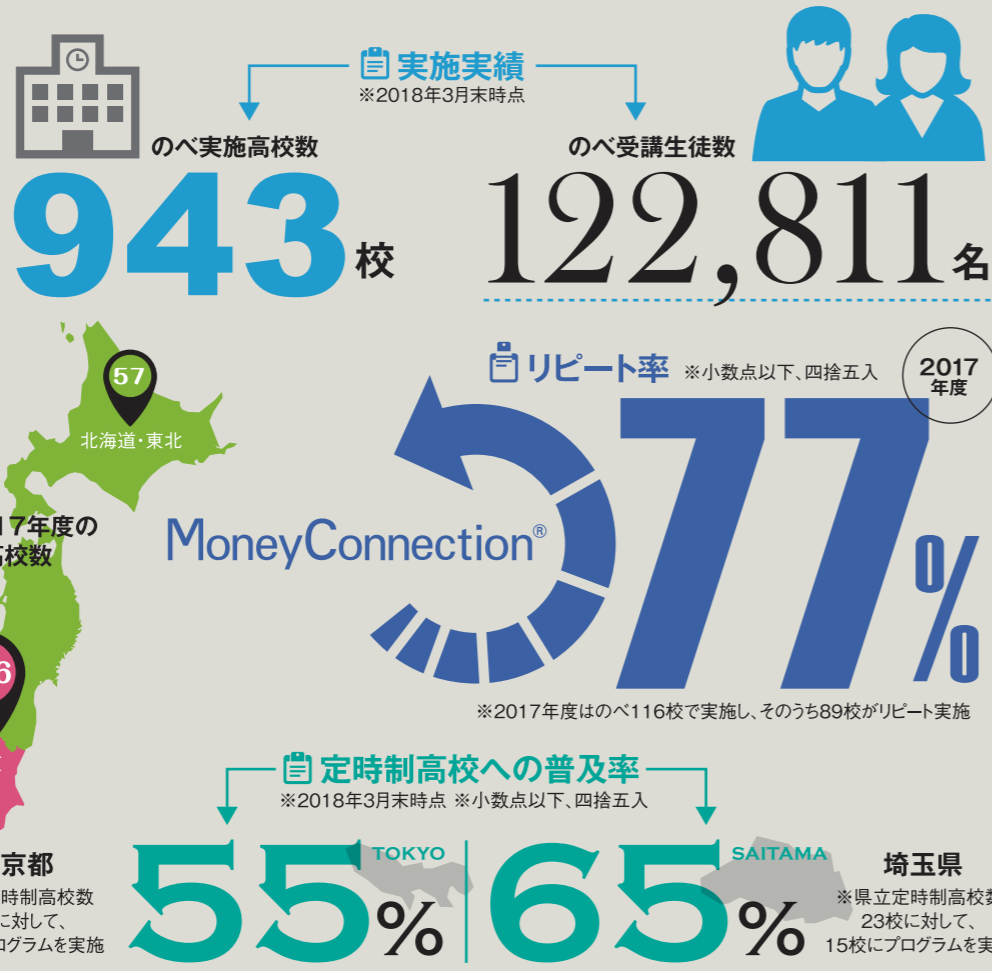


これまでの実績

2017年度の 都道府県別実施高校数

岩手県	1校	愛知県	2校
秋田県	9校	京都府	1校
茨城県	5校	大阪府	15校
群馬県	3校	兵庫県	2校
埼玉県	7校	奈良県	1校
千葉県	1校	和歌山県	19校
東京都	28校	島根県	1校
神奈川県	7校	広島県	1校
福井県	1校		
山梨県	2校		
長野県	1校		

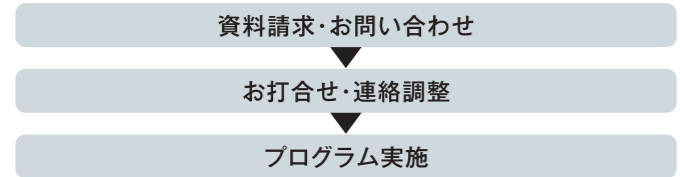


MoneyConnection®とは?

若者の無業化問題解決のため、そして高校生がお金について学び、より現実的に将来の選択肢を考えられるよう、認定特定非営利活動法人 育て上げネットと新生銀行グループが協働し「MoneyConnection®」を開発しました。一人暮らしに必要な生活コストを考えるワークやお金の稼ぎ方や働き方から将来の生活をシミュレーションし、自分の価値観を見つめ直すワークで構成されています。お金・働くこと・生活・自分の価値観を考えることを通し、自分の将来と真剣に向き合うきっかけをつくることを目的としています。プログラムは、所定の研修を修了した認定ファシリテーターにより運営されています。また、頒布教材や無償の教材データを活用して先生方が独自に授業に導入いただくことも可能です。

◎お申し込みから実施までの流れ

お問い合わせから実施まで2~3ヶ月程度かかります。



※出張授業・教材提供について

高等学校での導入初回に限り無償で出張授業を承ります。無償の出張授業・教材提供には所定の条件がございます。詳しくはお問い合わせください。

MoneyConnection®の詳細が知りたい、実施を検討してみたい場合は育て上げネットまでご連絡ください。

042-527-6051 kyoiku-toiawase@sodateage.net

「稼ぐこと」「働くこと」から、
将来の生活をシミュレーションしてみよう!

◎プログラムの流れ

※1時限の授業(45~50分)でプログラムを実施する場合

①個人ワーク

「一人暮らしに必要な生活コスト」を考える個人ワーク。生きていく(生活する)ためには、お金が必要であることを理解します。

②グループワーク

カードを使ったゲーム形式のワークで、働き方(フリーター・派遣社員・正社員)と収入から生活スタイルをシミュレーションします。

③話し合い

生活スタイルの変化が、それぞれの働き方・稼ぎ方に与える影響を考えます。

④まとめ

働き方・稼ぎ方の多彩さを知るとともに、それを選択し未来を作るのは自分自身だということを実感。将来を見据えて職業選択することの大切さを伝えます。

同プログラムを2時限(90~100分)で展開することも可能です。
詳しくはお問い合わせください。

MoneyConnection®

NEWS
VOL. **6**

若者の無業化予防をめざした金銭基礎教育プログラム 育て上げネット | 新生銀行グループ

将来を
考える
きっかけを
つくる!

お金と仕事
が
テーマ

生徒参加型
プログラム

多様な大人と
交流できる



工藤 啓

長田 徹

[スペシャル対談]

学習指導要領の改訂で 学びはどう変わる?

2017年度に改訂された高等学校の学習指導要領。この改訂を受け、今高校の授業は大きな変化の時期を迎えています。今後の学びはどう変わるのか? MoneyConnection®のプログラムは其中でどんな役割を持つのか? 若者の教育に深く関わる2人の対談から探っていきます。

対談の全文は公式サイトで公開中!



マネーコネクション 検索

moneyconnection.jp

学習指導要領の改訂を受け、
変わる高等学校の学び。
改訂のポイントと、高等学校教育に
求められることについて、
文部科学省／国立教育政策研究所で
キャリア教育を推進する長田徹氏と
育て上げネットの工藤啓に
語っていただきました。

身につく資質・能力を意識し、 多彩な学び方を体験させる

【工藤】まずは、今回の学習指導要領改訂の
ポイントについてお聞きしたいのですが。

【長田】これまでの学習指導要領は「何を学
ぶのか」については、丁寧に整理されていま
した。しかし「何ができるようになるか＝資質・
能力」や「学び方」については、系統的に整
理されてきませんでした。この「資質・能力」と
「学び方」をベースにしたことが、今回の改訂
の大きなポイントです。

【工藤】具体的には、高校の授業はどのよう
に変わのでしょうか？

【長田】高校の場合、「現代社会」が「公共」
に変わるといった、科目の再編があります。ま
た、探求型の授業が多用されています。

【工藤】「学び方」が提示されると、先生側の
「教え方」も変わってきますよね？

【長田】そうですね。今、多くの小学校では、い
わゆるアクティブ・ラーニングと言われる主体

先生以外の
大人との触れ合いが
生徒の刺激になる

工藤啓

認定特定非営利活動法人 育て上げネット

同団体理事長。2001年、若者の就労支援を専門とする任意団体「育て上げネット」を設立。
2004年にNPO法人化。金沢大学客員教授、東洋大学非常勤講師。
内閣府・厚生労働省・文部科学省・東京都などの委員を歴任。
著書に「大卒だって無職になる “はたらく”につまずく若者たち（エンターブレイン）などがある。

職業教育に留まらない「よりよく 生きる」ためのキャリア教育を

【工藤】学習指導要領を読んで、社会との関
わりや、よりよい人生を送るための学びに
フォーカスされていると感じました。しかし、今ま
でのキャリア教育は職業教育に近いものが
多かったのではないのでしょうか。

【長田】キャリア教育と言うと、まだ職業に注
目しがちですが、それはキャリア教育のほんの

一部。今の学びが将来にどうつながるのかを
子どもたちに認識させることが、今後のキャリ
ア教育の重要なポイントです。

【工藤】私たちは高校で、金銭教育など、生
活に関わるプログラムを行っているのです
が、やはり家庭科や社会科の授業に入るこ
とが多いんです。キャリア教育は、どう関わっ
てくることになりませんか？

【長田】キャリア教育の充実は、学習指導要
領の総則に入っています。総則にあるという
ことは「すべての教科・科目でキャリア教育を
行う」ということ。家庭科や社会科だけでなく、
国語や数学も社会で生きていく上で非常に
重要なことを学ぶものなんです。

【工藤】例えばどういうことでしょうか？

【長田】新聞の三行広告には国語の漢文の
要素がありますし、交通機関を使って効率よ
く移動するルートを考えるためには数学の一
次関数が役立ちます。これは一例ですが、先
生方にはどの教科でも「生きて行く上で大切
なことを学んでいる」ということが伝わる授業
作りをして欲しいと思っています。

「開かれた学び」の実現には、 地域や民間との「協働」が不可欠

【工藤】今回の改訂では、学校と地域の連携
や民間との協働が示されています。学校の外
から子どもたちに関わる私たちには、今後ど
のようなことが求められてきますか？

【長田】今までは学校が地域や民間に依頼
し、連携するという形が多かったのですが、
これからは「協働」が求められます。学校と
地域・民間が理念を共有し、一緒に人づく
りをしていくことが「開かれた教育」であり、
今回の学習指導要領でも重視されている

スペシャル 対談

長田徹

文部科学省／国立教育政策研究所

石巻市立雄勝中学校教諭、仙台市教育委員会指導主事などを経て、2011年5月から文部科学省。
現在、文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官、同児童生徒課 生徒指導調査官。
国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター統括研究官、
同教育課程研究センター 教育課程調査官。

部分です。

【工藤】今までは、私たちのように民間の団
体から学校にアプローチするのは難しい部
分もありました。でも、地域や民間との「協
働」が学習指導要領に明文化されたこと
で、そのハードルが下がることを期待してい
ます。

【長田】これから子どもたちが巣立っていく社
会で求められる力や社会が抱える課題、社
会の中で生きる喜びを伝えていくためには、
外部との「協働」が不可欠。学校だけでで
ることには、やっぱり限界があるんです。

【工藤】僕は「先生以外の大人」から生徒た
ちに伝えることも重要だと思っていて。先
生や保護者のように、近い存在から言われ
ると腹が立つことも、外部の講師から言われ
るとすんなり受け止めることができる。生徒の感
じ方が違うことがあると思うんです。

【長田】そうですね。親や先生は「縦の関係」
ですし、友だちは「横の関係」です。それ以
外の「斜めの関係」の大人とどれくらい接す
ることができるか。ここがポイントだと私は
思っています。また、社会で実際に仕事をし
ている人や、よりよい社会・地域づくりに情
熱を傾けている人の言葉など、リアルな人
との出会いは、子どもたちの大きな財産にな
ると思います。

学びが将来に
つながることを
実感させる
指導が必要

自分の価値観と向き合い、価値観を 上書きしていくこともキャリア教育

【工藤】私たちはMoneyConnection®という
プログラムを高校に提供しています。将来の
生活費や働き方を考えるプログラムを学校で
行うことについて、どう思われますか？

【長田】お金を稼ぐことや生活の糧を得ること
は、将来、必ず必要になってくることですよ

この記事は対談の内容を抜粋・編集したものです。対談の全文は、
公式サイトでご確認ください → moneyconnection.jp

協賛・ 協力団体 からの メッセージ



●株式会社 新生銀行

新生銀行グループでは、MoneyConnection®を「次世代の育成」テーマの社会貢献活動の重要な
取り組みと位置づけ、プログラムに協賛するとともに、新生銀行グループの社員がファシリテーター
として運営にも参加しております。MoneyConnection®をより多くの生徒に届けるため、企業としての
専門性や知識を活かしながら今後も支援を行なってまいります。

●株式会社 岩手銀行

岩手銀行はCSR活動の一環として、地域の未来を担う子どもたちの「豊かなころ」を育む取組み
のお手伝いをしています。MoneyConnection®は、社会生活では当たり前になる必要とされる「お
金」「生活」「働く」ことを、子どもたちが考え、感じることができる、効果的なプログラムだと思います。

●株式会社 紀陽銀行

現代社会において、「お金」に関する知識の重要性はどんどん高まっています。2022年には、成人
年齢が20歳から18歳へ引き下げられることも決まりました。高校を卒業するときにはもう成人です！
MoneyConnection®は、ぴったりのタイミングで自立した将来を考えさせてくれる、高校生にぴった
りなプログラムだと思います。

●特定非営利活動法人 キャリア・ファシリテーター協会

和歌山県下と大阪南部の高校で実施している「MoneyConnection®」は、株式会社 紀陽銀行
様に協賛を頂き協会が実施しています。毎年、高校からの申し込みで直ぐに予約がうまり学校
から好評です。「クラスのみならず楽しみながら、お金・働くことなど、将来を考えるきっかけになった」と
生徒からも大好評のプログラムです。

未来を
考える
きっかけ

ね。だからそれを高校の授業で経験させ、学
ばせることは大事なことです。こういったプロ
グラムは自己のキャリアを考える上でも、非常
に有効だと思います。

【工藤】このプログラムでは、金銭基礎教育
を通して、自分の価値観を考えるきっかけを
作ることも目的にしているのですが、これは、
学習指導要領で求められていることに近い
ように感じています。

【長田】今まで「価値観を考える」という授業
はあまりありませんでしたよね。「いい大学に
進学し、いい企業に就職すれば安泰」という
価値観を大人や社会が口に出したり、出さな
かったりしながら押し付けてきたのでは。でも、
今はもうそういう時代じゃない。自分でモノや
仕事を作り上げていくことが求められる時代
だからこそ、今までにないプログラムが必要に
なってくると思います。

【工藤】MoneyConnection®では、「価値観
を押し付けない」ことを大事にしています。こ
れは学習指導要領の改訂にマッチしている
と自信を持っていいのでしょうか？

【長田】そうですね。自分の価値観を考えるこ
とに、模範解答はないんです。また、価値観は
経験によって変化します。自分の価値観の
変化を意識させること、価値観の上書きをし
ていくこと自体がキャリア教育なんです。

【工藤】多様化する働き方や価値観にあわ
せ、MoneyConnection®のプログラムもアッ
プデートしていくことが必要かもしれませんね。
本日はありがとうございました。